

Blue sky

春は名のみ

校長 川口 真澄

春は名のみ 風の寒さや

谷のうぐいす 歌は思えど (「早春賦」より 吉丸一昌作詞・中田章作曲)

「早春賦」は、今の時節にふと口ずさむ曲の一つ。立春を過ぎたとはいえ、まだまだ寒い日が続きます。そのような日々の中にも、日の出や日の入りの時刻や明るさ、昼間の陽ざしに春の訪れを感じます。春になれば、鶯が鳴き、若芽が伸びるように、子供達一人一人はその子の適切な時期に、その子のペースで成長していきます。本校でさまざまな経験を経た子供達。毎朝の登校時には、「余裕」を感じさせる表情です。城東特別支援学校での1年が、皆で「成長」を実感できる1年であってほしいと願っています。

子供の成長期には、多くの心配や不安、疑問が生じます。「大丈夫だろうか」「きっと〇〇となるのでは？」子供には、大人の心配や不安を言葉で直接聞かなくとも、察する力があり、伝わります。その状況を黙って受け止めるのは、子供達です。この時の大人の心配そうな表情が、少しほっとした表情に変われば、子供達は安心して次の一步を踏み出すことができるのではないのでしょうか。心配や不安、疑問を少しでも誰かに話せれば、気分が落ち着いたら、不安が緩和されたら、日々の生活に少し余裕と安心が戻ります。黙っていても、解決に至らずとも時は過ぎますが、心配はつるばかりとなります。学校で、職場で、御家庭で、地域でちょっとひと声、おしゃべりや相談ができる関係、人とのつながりがとても重要と考えます。

今年度、本校では約80回の支援会議が行われ、多様な専門家からの助言で教員の専門性向上や保護者、行政、福祉機関等との連携、改善策へつなぐことができました。また、2月24日には、進路講演会が開催され、講師である先輩保護者の方から貴重な御意見、情報をいただくことができました。保護者の方々からは、親身で切実な内容に心を動かされたと聞いております。来年度は、PTA組織も設立される予定ですので、さらに「つながり」は広がり、深まっていくと思われます。

来年度も多くの専門家、関係機関、地域の方々、そしてPTA組織と連携し、子供達の健やかな成長につなげてまいります。どうぞさまざまな方々の御支援、つながりからなる「チーム城東」の構築に向けて、今後も教職員全員で真摯に取り組んでまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



音楽鑑賞会



学習発表会



開校式典出品

いろんなこと
があったね。



移動教室



持久走大会



ブルキナファソとの国際交流

